

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	既存の、運営推進会議の運営規定の充足を図る。	運営推進会議の運営規定を見直し、条項ごとに整理、「守秘義務」の項を追加作成する。	法人内の運営会議にて取り上げ、運営推進会議の運営規定を改定し、法人内全グループホームで施行する。	1ヶ月
2	20	理念でもある「その人らしい」を大切に考え、人間関係の保持を重要視し、本人様の思い出の場所や入居前のなじみの店に買い物に行く機会や家族様との絆は基より、入居前のなじみの人との交流の機会も遮断されることが無いよう、地域へ出ていく事で地域の方との関わりを継続できるよう支援に努め、日頃の会話においても、ご本人にとって大切にしている思い出等の記憶が途切れないように意識した関わり・支援に努めているが、ご本人の認知症の進行により、知人、友人の来所が減少している。	ご本人と友人・知人の関係維持に向け今以上に配慮し、友人・知人の来訪に繋げていきたい。 ご本人の認知症の進行に伴い、訪ねてこられた方を忘れておられたり認識できなかったりという事で、来所される回数が減少してしまわないように、先方のケア(忘れられていることによるショック)を含めた関わりを構築する。	認知症が進行されている方への面会の際は職員がそばで見守りながら、会話の中でフォローすることを心掛け、先方が再来訪して下さるような関わり(コミュニケーション)を図る。 認知症への理解を求めることは基より、先方のケア(忘れられていることによるショック)についても念頭におき、ご本人と友人・知人の潤滑油という役目を果たせるように取り組んでいく。	3ヶ月
3	49	入居者様の個々の身体的な状態や天候等に配慮し、いくつかのグループに分けて本人様の希望に沿って、外出(散歩や買い物)して頂けるよう支援をおこない、また、家族様の協力の下、選挙や墓参り、一時帰宅や外泊等の支援も行っている。しかし、家族様の協力に温度差があり、家族様によってはなかなか受け入れて下さらないという課題がありすべての入居者様のニーズに応えきれていない。	家に帰りたくないと訴えのある方について、家族様の受け入れへの抵抗感を減少させる事例を具体的に提示することで、帰宅に対する要望を満たせるようにより一層努める。	個々人の要望実現に向け、今までのように家族様に対しご本人の要望をお伝えするだけではなく、まず事業所側で一度実行することで、事例を具体的に提示し経過を報告し協力を求めていく。実行後の具体的なご本人の変化等も家族様に報告、共有することで家族様が持っておられる、受け入れに対する抵抗感の減少を図り、一時帰宅に対する要望を実現できるように取り組んでいく。	12ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。